

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
132241_多摩市	②学校と地域の課題	その他	コミュニティ・スクールを全校導入。地域学校協働活動についても推進員を全校配置。学校と地域との連携に対する意識の向上が、学校と地域共通の課題となっている。	・学校運営協議会において熟議がはかられるよう委員委嘱時などに、案内を配るなどして理解促進を図る。 ・地域学校協働活動推進員への研修を年1回以上実施し、地域連携の補助を行う。	学校・家庭・地域への協働活動の理解促進を図ることにより、地域と学校の連携・協働体制を構築する。	学校評価書のうち「家庭や地域の連携」に係る評価項目の自己評価「4(申し分なく達成)」・学校関係者評価「A(適切である)」の割合	(R3数値) 33.8	%	40	53.9	3 ・学校運営協議会において熟議がはかられるよう委員委嘱時などに、案内を配るなどして理解促進を図った ・地域学校協働活動推進員への研修を年2回実施し、地域学校協働活動や学校運営協議会との連携について理解促進を図った ※実績値R6.3.27時点	https://www.city.tama.lg.jp/koso/date/1008019/1008035/1008120/1008124/1012101.html
132241_多摩市	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校の授業以外で学習を行う「学習習慣」に対する指導等が学校・家庭の共通の課題である。	・各小中学校に推進員を1人以上配置し、地域・学校と協働しながら運営。児童・生徒への学習習慣の定着化を図る。	児童・生徒の学校の授業以外での勉強時間が増える。	「学校の授業以外での勉強時間が増えた」に「そう思う」と回答した児童・生徒及び参加児童・生徒の保護者の割合(多摩市教育委員会実施「未来塾成果調査」)	(R3数値) 64	%	70	58.7	2 ・令和4年度から調査を保護者向けに開始したため(目標設定時の基準数値が令和3年度)、割合の数字変動が想定より大きかった。 ・令和4年度と比較すると、中学校の生徒及び保護者の肯定的意見の割合が上昇した。 ・各校の実態に合わせた開催とできるよう実施にあたって必須としていた項目の見直しを行う	